



那 建 第 1 1 3 号
平成20年10月24日

国土交通省道路整備局長 殿

那智勝浦町町 中村詔二郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

秋冷の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、那智勝浦町発展につきまして格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありました標記につきまして別添のとおり提出いたしますのでよろしくお願い致します。

世界でダントツといわれる長期債務残高、つまり、600兆円、700兆円ともいわれる日本国の借金について、2010年には少なくともプライマリーバランスを黒字化し、その後も引き続き借金を返済しつつ、日本国の財政状況を改善していこうというのは、謂わば国是とも言うべき日本の基本的スタンスである。

この難題を解決するためには、暴論ではあるが、国防予算をゼロにするか、あるいは、20%程度の借金返済目的税を創設するかといった政策しか容易には見当たらない。しかしこうした暴挙を国民が容認するとは考えられない。

とすると、残るのは、地味ではあるが、国・地方ともにスリムとなって行政経費を節減していくしかあるまい。これが20世紀終盤に言われた広域連携の思想の根底にある要因であろう。広域連携が市町村合併に、そしてやがては道州制へと言葉は拡大していった。

各自治体が合併し、職員や議員の削減、庁舎、消防、病院、学校、クリーンセンター、斎場等の統廃合等によって、スリム化することが不可欠である。そして、各自治体が合併するためには、それらの統廃合を可能にする合併自治体間を短時間で結ぶ高速道路のネットワークが不可欠である。

一方、21世紀の日本国で大きな社会的問題となっているのが「格差」である。人口の格差、経済力の格差、教育や医療の格差、等々である。この格差を是正するには単に広域連携して人口の大きな自治体を作るだけでは不十分である。広域連携し、スリム化した自治体間を結ぶ高速道路のネットワークが不可欠である。つまり、国是ともいうべき国全体の行政経費を削減するためにも、そして日本人として中央の人間も、地域の間人も等しく日本人という単一のアイデンティティーのもとに生活するためにも、この日本国に高速道路のネットワークを構築することは不可避である。

また最も深刻な社会的問題は、これまた世界で最も高齢化率の高い日本国の「少子高齢化」の問題である。人口が減少すると同時に高齢化する結果、労働力の減少を通じて経済成長率が低下する懸念がある。2000年から2025年にかけて、労働投入量は年率約0.5%で減少していくとみられ、経済成長の制約要因となる。また、現行の社会保障制度は世代間扶養の仕組みであるため、高齢化比率の上昇により、現行世代の社会的保障負担が増大する。つまり、高齢化比率が増大することにより、当然、国・地方の福祉関連予算や医療関連予算の増大が予想される。簡潔にいうと、税収が減少し、高齢者対策予算が増大することとなる。

問題は、この日本国には、国是とも申すべき広域連携を可能にする高速道路ネットワークを建造する財政力能力は、後何年間残っているかである。国土交通省は、道路特定財源が5月13日の閣議決定で廃止され、平成21年度からは一般財源化することが決定されたが、「地方が真に必要と判断する道路を着実に整備するための国及び地方の道路財源の安定的確保」にむけて努力するとし、今後も道路建設に向けて不退転の姿勢を崩さないことの背後には、このタイムリミットの思いが感じ取られて実に心強いものがある。

昨今、高速道路無料化論という暴論が一部ささやかれているが、それでは地方の道路はどうなる。まことに都市偏重型の非理論であり、憤懣やるかたない。高度な高速道路ネットワークを誇るドイツでは、高速道路は無料であるが、その代わり国民がアウトバーンを維持管理するために、等しく道路税を払っている。

今後の道路行政についての意見・提案

②－1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

和歌山県 那智勝浦町

○ 現状

平成20年3月30日に那智勝浦新宮道路L=8.9kmが暫定2車線で一部供用開始され、地域の活性化に大きな役割をはたしています。

○ 課題

平成18年度より調査・設計に着手しています那智勝浦道路L=6.3kmの早期完成が望まれます。

②－2 地域の目指すべき将来像

地域の発展・活性化に不可欠な「真に必要な道路」の建設がやっと都市部から地方に順番が回ってきたこの時期において、都市部の道路整備が概ね完了したからと言って、地方の発展・活性化を遅らせる事は、国全体の発展・活性化を遅らせる事になるので、今こそ道路特定財源を最大限に有効利用して、地方に適した暫定2車線等の道路整備を促進すべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

和歌山県 那智勝浦町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	那智勝浦道路(13工区)	広域連携の推進・時間短縮・ 地域の発展・活性化	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	那智勝浦道路(13工区) 国道42号歩道整備・交差点改良	安全な走行確保 歩行者の安全確保	